



河津桜とニツ池セレストナ

人間万事塞翁が馬

共和病院 看護部長
地域調整支援部長 新美 恵介

春の日差しが心地よい毎日となりました。コロナ禍も3年を過ぎ、いよいよ5月にはコロナウイルス感染症の法的位置づけが5類に移行することが決定されています。3年前の2020年3月11日に新型コロナウイルス感染症のパンデミックが表明されました。世界が未曾有の状況となり、感染拡大に対する不安や外出などの日常生活の変化、ストレス、失業や減収の不安など様々ありました。医療材料の不足は当法人にとっても深刻な状況となりました。当時はサージカルマスクが満身に購入できず、布マスクや手作りマスクを着用したことも鮮明に蘇ってきます。パンデミック前は街で時折見かける黒マスクなど違和感を覚えることもありましたが、現在では気にも留めないことも日常の変化なのだと感じています。昨年度はアイソレーションガウンやプラスチックエプロンなども不足し、価格も高騰時に10倍というときもありました。しかし医療材料の購入先に関しては、新たな取引先も増えメリットもありました。困っているときに快く協力をしていただいた業者もあり

感謝の気持ちでいっぱいです。今後感染症分類は5類に移行しますが、コロナ禍前の日常は戻ってはこないです。ピンチをチャンスに変えブラッシュアップした日常を送りたいと思います。

さて特定医療法人共和会は第65期を迎えました。当院では昨年度よりクロザピン治療を推進すべく準備を進めて参りました。

クロザピンは、今まで複数の向精神薬による治療を受けたにもかかわらず、症状が十分によくならなかった統合失調症（治療抵抗性統合失調症）に対して一定の治療効果があることが認められた「最後の切り札」とも言われる治療薬です。変化が期待でき可能性が広がる薬です。当事者・家族・医療関係者が協力しながら、「自分らしく」生きがいを持って暮らしていくお手伝いができればと思います。

共和会は今後もさらなる地域医療推進を目指し邁進していききたいと思います。



第14回 共和会研究発表会を開催して

3月4日（土）当院の多目的ホールにて第14回共和会研究発表会を開催致しました。新型コロナウイルス感染が落ち着いてきた中で、実行委員会、病院代表と何度も話し合い、検討した結果、感染対策をしたうえで、4年ぶりに外部の方をお招きしての研究発表会開催が実現できました。

今年は法人内外より128名の方にご参加いただきました。

また、発表会を多くの方々に見ていただきたいとの思いから、法人内の職員向けに動画配信を行ないました。

今回は看護部2題、医療福祉課2題、デイケア1題、訪問看護1題の全6題の発表を行ないました。

第1部では、重度知的障害者への継続したアプローチ、発達障害患者に対する退院支援、強度行動障害の方への医療と福祉の連携についての3題が発表され、第2部では、精神科デイケアにおける新型コロナウイルス感染予防対策の実態、医療療養病棟におけるACPへの取り組み、在宅での栄養ケア支援についての3題が発表されました。どの発表も患者様に対して、それぞれの職種がどのようなケアや支援を丁寧に大切に行なっているのかが分かる素晴らしい発表でした。それは、終了後のアンケートでも、「大変満足」、「満足」の声を多くいただき、多くの方々がお褒めの言葉を記載して下さいました。

来年も外部の方をお招きしての開催を継続して開催できることを願っております。今後も様々な医療・介護等の提供、地域の関係機関との連携に取り組んでまいります。




研究発表会 実行委員長 檜崎 龍

プログラム


1.

**自己誘発性嘔吐のある重度知的障害者への継続したアプローチ
～長期隔離から退院に向けて～**
熊崎 靖子（看護師）




2.

**感覚過敏がある長期入院の発達障害患者に対する退院支援
～自己効力感を高める介入～**
日下 恵裕（看護師）




3.

**強度行動障害の方への医療と福祉の連携について
～ソーシャルワークの視点から～**
當山 麻那美（精神保健福祉士）




4.

**愛知県内の精神科デイケアにおける新型コロナウイルス
感染予防対策の実態（第3報） ---アンケート調査より---**
竹内 勇人（作業療法士）




5.

**医療療養病棟におけるACPへの取り組み
～医療者として患者と家族の狭間でできる支援～**
稲田 朋也（ソーシャルワーカー）



6.

在宅での栄養ケア支援 ～栄養課との連携を通して～
加藤 利絵（管理栄養士） 北河 千花（看護師）
坪井 起代子（作業療法士）



共和病院には、患者様のご病状に合わせた最適な治療が受けられるよう、様々な機能の病棟を6つ備えています。毎号それぞれの特色を紹介しています。

A-4病棟

A-4病棟は、病床数58床の精神科慢性期病棟です。10代から90代まで、幅広い年齢層の患者様が入院されています。

大きな特徴は、長期入院されている患者様が多く、病棟ではあるものの生活の場としての一面が強いことです。病棟外の行動に制限のある方も多いため、日々を彩り、生活に楽しみを持っていただけるよう様々なレクリエーション活動を取り入れています。昨年もコロナ感染拡大予防に注力しつつ、クリスマス会など季節のイベントやお茶会、音楽会、足湯やボーリング大会など様々なレクリエーションを実施しました。月に一度開催している患者様ミーティングでは、日々の悩み事や生活の要望をお伺いするとともに、入浴剤や飲みたい物、見たい映画などについてアンケートをとり、要望が多かったものを採用するなど、患者様の意見が取り入れられるような工夫をしています。

退院支援にも積極的に取り組んでおり、昨年4月からの10か月間で、1年以上長期入院されている患者様がなんと15人も退院されました。その中には20年以上入院されていた方や、隔離された部屋で何年間も過ごしていた方も。これは、患者様自身の力であると同時に、A-4病棟スタッフがガリカバリー志向を持って、諦めることなく支援を続けているからこそその結果だと思っています。

どんな状況にあっても諦めず、信じて関わり続けること。人と人の関わりを大切にすること。それが私たちA-4病棟の特色であり、強みだと思っています。

病棟責任者 丹羽 俊樹



クロザピンというお薬のお知らせです

今まで複数の抗精神病薬による治療を受けられたにも関わらず、症状が十分に良くならなかった統合失調症の事を治療抵抗性統合失調症といいます。具体的には、

- ①十分な薬物療法を行っても治りにくい反応性不良
- ②副作用のために必要な量の薬剤を使用できず病状が良くならない耐用性不良

この治療抵抗性統合失調症に対して、世界で唯一有効である事が認められているお薬が、「クロザピン」という錠剤の飲み薬です。副作用に注意も必要ですが、内服して軽度の改善も含め6割程度の方に症状の改善が報告されており、退院や社会復帰をされた方もいらっしゃいます。

安全に治療が行えるよう、国から定められた機関が安全管理を行い、その機関が認可した医療機関・医師でしか処方できません。当院は、登録医とその他研修を終了した看護師・薬剤師等の多職種連携チームでクロザピン治療を実施している医療機関です。定期的な血液検査等で副作用の確認を行いながら、症状の改善を目指します。

クロザピンの治療にはいくつかのルールがあるため、治療について詳しく知りたいとお考えの患者様・ご家族の方は、現在治療を受けていらっしゃる担当医師にご相談ください。

薬剤課 新美 詠彦



クロザリル錠25mg



クロザリル錠100mg

編集後記



春到来。入学、就職などで新生活を始められた方も多いのではないのでしょうか。この3年感染対策によりマスク着用必須の生活が余儀なくされ、初めて出会う方の素顔を知らないまま…淋しい限りでした。マスク着用緩和の流れに、みなさんの

笑顔が見られるようになることを期待し、新しい出会いを楽しみたいと思います。今年度もみなさんに親しんでいただけるような紙面づくりに取り組んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

広報委員会 加藤 珠希



表彰おめでとうございます！



2022年度の冬季、当法人の職員が様々な団体より長年の功績を認められ、表彰を受けました。

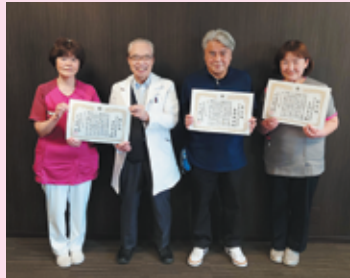
当法人の理念「優しい医療・楽しい職場」を実践してこられた皆さんです。これからも長く勤めていただき、一層の活躍を期待いたします。

①当院で30年以上患者様の支援に精励尽力されたことが認められ、愛知県精神科病院協会より永年勤続表彰を受けました。

(2022年12月15日)

表彰式はコロナ禍により行われなかったため、後日当法人理事長より表彰いたしました。

- 表彰者**
- ・深谷 咲子さん (看護師)
 - ・高須 孝子さん (介護福祉士)
 - ・加藤 富也さん (訪問介護員)



左より 深谷、山本理事長、加藤、高須

②精神保健福祉の発展に寄与され功績が顕著な方々に、愛知県精神保健福祉協会会長より表彰授与がありました。

表彰式は2022年11月25日にオンラインにて開催。

当法人からは、事業支援部門施設管理の近藤 啓史さんが表彰を受けました。

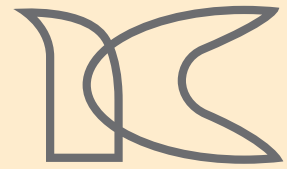
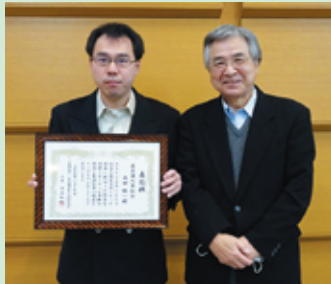


表彰式に同席されたお父様と

③大府市障がい者雇用事業所連絡協議会より、優良勤労表彰式が行われました。

当法人からは、洗濯業務で長く勤務されている花田 紘一さんが表彰を受けました。

表彰式は2023年1月17日に大府市役所にて開催されました。



共和会理念

『優しい医療・楽しい職場』

私たちが目指す『優しい医療』とは

- まごころをこめてやすらぎと癒しの提供
- あなたの安心と希望ある地域生活の支援
- それぞれの専門性を活かした最良の医療・介護サービスの提供

私たちが目指す『楽しい職場』とは

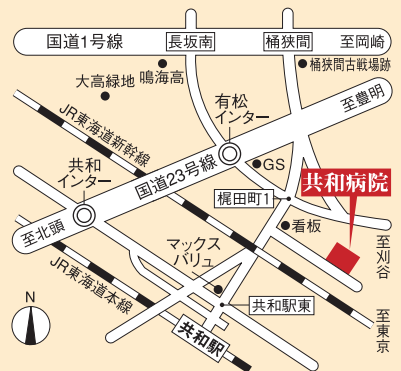
- 職員のチームワークと創造性が高められる職場
- 職員のレベルアップと仕事の充実が感じられる職場
- 職員の満足が皆様へ反映される職場

基本方針

～当院をご利用の皆様へ～

わたしたちは、利用者の皆様が安全かつ納得のいく医療を受けていただくことを目指し、それぞれの尊厳を大切に、思いやりのある医療を提供します。さらに、地域関係機関との密接な関係を保ち、地域の医療水準の向上に努めます。

1. あなたは、個人的な背景の違いや病気の性質などにかかわらず、必要な医療を受けることができます。
2. あなたは、医療の内容、その危険性および回復の可能性についてあなたが理解できる言葉で説明を受け、それを十分納得して同意したのちに、医療を受けることができます。ただし、必要に応じて主治医の判断によってご家族、代理の方にお話をする場合もあります。
3. あなたは、今受けている治療、処置、検査、看護・介護、食事その他についてご自分の希望を申し出ることができます。また、他の医療機関に転院したい場合は、必要な情報を提供致します。
4. あなたの医療上の個人情報は保護されます。
5. あなたの社会でよりよい生活が提供されるよう、地域関係機関との連携を図ります。



特定医療法人 共和会

共和病院

愛知県大府市梶田町2-123

診療科目

内科・消化器内科・呼吸器内科・神経内科
精神科・心療内科・循環器内科・肛門外科
放射線科・リハビリテーション科・歯科

TEL.0562-46-2222(代)

URL <http://www.kyowa.or.jp/>

★ラジオ番組★

毎月 第2月曜日19:00～19:30

MID-FM 76.1

ラジオパーソナリティー
共和病院 副院長 松下 直美

こころの病を持たれている方をはじめとする皆さまに
温かいメッセージをお送りします。是非お聞きください。

おもいやり共和の キラキラチアナイト



当院HPから過去の放送分も聴くことができます。

お知らせ

8月11日(金)～8月15日(火)は、
お盆につき外来診療を休診させていただきます。